

【（介護予防）指定短期入所生活介護事業所】

特別養護老人ホーム 成樹園

運 営 規 定

（事業の目的）

第1条 社会福祉法人南紀白浜福祉会が開設する成樹園指定短期入所生活介護事業所（以下「事業所」という。）が行う指定短期入所生活介護の事業（以下「事業」という。）の適正な運営を確保するため人員及び運営管理に関する事項を定め、事業所の生活相談員、看護師及び介護員等（以下「職員」という。）が、要介護状態（介護予防にあつては要支援状態）にある高齢者に対し、適正な指定短期入所生活介護及び介護予防短期入所生活介護（以下「介護サービス」という。）を提供することを目的とする。

（運営の方針）

第2条 介護サービスの提供にあつては、利用者の心身の特性を踏まえ、その能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、施設において入浴、食事の提供、機能訓練等を行い、利用者の心身の機能の維持、回復並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図る。

2 事業の実施に当たっては、関係市町村、地域包括支援センター、居宅介護支援事業者、地域の保険・医療・福祉サービスとの緊密な連携を図り、総合的なサービスに努めるものとする。

3 上記のほか、事業の運営にあつては、「和歌山県指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例（平成24年和歌山県条例第65号）及び和歌山県指定介護予防サービス等の事業の人員、設備及び運営並びに指定介護予防サービス等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例（平成24年和歌山県条例第66号）」を遵守する。

（事業所の名称）

第3条 事業所の名称及び所在地は、次のとおりとする。

- 一 名 称 特別養護老人ホーム成樹園
- 二 所在地 和歌山県西牟婁郡白浜町富田1703番地

（職員の職種、員数、及び職務内容）

第4条 事業所に勤務する職員の職種、員数及び職務内容は次のとおりとする。

ただし、下記職員については（介護老人福祉施設）の職員との兼務とする。

- 一 管理者 1名（常勤）
管理者は、事業所の従事者の管理及び業務の管理を一元的に行う。
- 二 医師 1名（非常勤委託）
利用者の健康管理、療養上の指導に従事する。
- 三 生活相談員 1名（介護支援専門員兼務）
生活相談員は、事業所に対する指定短期入所生活介護の利用の申込みに係る調整、利用者の生活相談、面接、身上調査等に従事する。

- 四 介護職員 18名（常勤15名・常勤兼務1名・非常勤2名）
利用者の介護等に従事する。
- 五 看護職員 4名（常勤1名・常勤兼務1名・非常勤2名）
利用者の看護や健康相談に従事する。
- 六 栄養士 1名（常勤）
献立作成及び給食業務に従事する。
- 七 調理員 5名（常勤2名・非常勤3名）
給食業務等に従事する。
- 八 介護支援専門員 1名（生活相談員兼務）
利用者の施設サービス計画の原案をたてるとともに、要介護認定及び要介護認定更新の申請手続き業務に従事する。
- 九 機能訓練指導員 1名（常勤兼務）
心身の機能の減退を防止するための訓練業務に従事する。
- 十 事務員 2名（常勤1名・常勤兼務1名）
庶務・経理その他の事務に従事する。

（利用者の定員）

第5条 事業所の利用者の定員は、合わせて2名とする。（介護予防サービスを含む）

- 2 特別養護老人ホーム成樹園が、一時的に入所定員を満たさない場合、入所者の処遇に支障がない限り、その利用居室の全部または一部を用いて短期入所及び介護予防短期入所ができるものとする。

（介護サービスの内容）

第6条 介護サービスの内容は次の通りとする。

- 一 生活相談
- 二 日常動作訓練
- 三 食事・入浴・清拭・排泄等の介護
- 四 健康チェック・管理
- 五 送迎

（利用料等）

第7条 介護サービスを提供した場合の利用料の額は、厚生労働大臣が定める基準によるものとし、当該介護サービスが法定代理受領サービス（現物給付）であるときは、「介護保険負担割合証」に記載の割合に応じた額とし、法定代理受領サービスでないときは、その全額とする。なお、厚生労働大臣が定める基準（介護報酬告示）を、事業所の見やすい場所に掲示する。

- 2 前項の他、別に定める料金表により支払いを受ける。
- 3 前2項の費用の支払いを受ける場合には、利用者又はその家族に対して事前に文書で説明した上で、支払いに同意する旨の文書に署名（記名押印）を受けることとする。

(通常の送迎の実施地域)

第8条 通常の送迎の実施地域は 白浜町、上富田町、すさみ町、田辺市（旧本宮町及び旧龍神村を除く）の区域とする。

(サービス利用に当たっての留意事項)

第9条 利用者は事業所を利用するに当たっては、入所生活上の日課、ルールを守り、職員の指示に従わなければならない。

(緊急時等における対応方法)

第10条 職員は、介護サービス中に利用者の病状に急変、その他緊急事態が生じたときは、速やかに医療機関および関係先へ連絡する等の措置を講じるとともに管理者に報告しなければならない。

2 前項の緊急時等の状況およびその際に行った措置を記録し保管する。

(非常災害対策)

第11条 消防法施行規則第3条に規定する消防計画及び風水害、地震等の災害に対処する計画に基づき、また、消防法第8条に規定する防火管理者を設置して非常災害対策を行う。その他詳細については、「成樹園 消防計画」に従い非常災害防災に努める。

(身体の拘束等)

第12条 当施設では、原則として利用者に対し身体拘束を行いません。但し、自傷他害の恐れがある場合等緊急やむを得ない時には、身体拘束廃止検討委員会において判断し家族の同意のもと、身体拘束その他利用者の行動を制限する行為を行うことがあります。この場合には、その様態及び時間、その際の利用者の心身の状況、緊急やむを得なかった理由を記録します。

(虐待防止対策)

第13条 当施設は、利用者の人権擁護・虐待防止等のため、職員に対する研修の実施を行い、虐待防止担当者の配置、苦情処理体制の整備等、必要な措置を講ずるものとする。

2 虐待の通報があった場合は、管理者は速やかに関係機関に報告するとともに、通報内容の事実確認を行い、迅速に対応するものとする。

(その他運営についての留意事項)

第14条 事業所は職員の質的向上を図るため研修の機会を次のとおり設けるものとし、又、業務体制を整備する。

- 一 採用時研修 採用後1か月以内
- 二 継続研修 年12回

2 職員は、厚生労働省作成のガイドラインに則り個人情報保護し、業務上知り得た利用者又は家族の秘密を漏らしてはならない。

3 職員が業務上知り得た利用者又は家族の秘密を漏らすことのないよう、退職した後においても、これらの秘密を保持すべき旨を、職員との雇用契約の内容とする。

- 4 この規程に定める事項のほか、運営に関する重要事項は、社会福祉法人南紀白浜福祉会理事長と事業所の管理者との協議に基づいて定めるものとする。

付 則

この規程は、平成12年 4月1日から施行する。
この規程は、平成13年 4月1日から施行する。
この規程は、平成14年 4月1日から施行する。
この規程は、平成15年 4月1日から施行する。
この規程は、平成16年 4月1日から施行する。
この規程は、平成17年 4月1日から施行する。
この規程は、平成17年10月1日から施行する。
この規程は、平成18年 3月1日から施行する。
この規程は、平成18年 4月1日から施行する。
この規程は、平成19年 4月1日から施行する。
この規程は、平成20年 1月1日から施行する。
この規程は、平成20年 5月1日から施行する。
この規程は、平成20年 9月1日から施行する。
この規程は、平成21年 4月1日から施行する。
この規程は、平成22年 4月1日から施行する。
この規程は、平成23年 4月1日から施行する。
この規程は、平成23年 5月1日から施行する。
この規程は、平成24年 6月1日から施行する。
この規程は、平成25年 6月1日から施行する。
この規程は、平成26年 1月1日から施行する。
この規程は、平成26年 6月1日から施行する。
この規程は、平成27年 6月1日から施行する。
この規程は、平成27年 8月1日から施行する。
この規程は、平成28年 6月1日から施行する。
この規程は、平成29年 6月1日から施行する。
この規程は、平成30年 1月1日から施行する。
この規程は、平成30年 4月1日から施行する。
この規程は、平成30年 6月1日から施行する。
この規程は、令和 元年 6月1日から施行する。
この規程は、令和 元年 8月1日から施行する。
この規程は、令和 元年12月1日から施行する。
この規程は、令和 2年 6月1日から施行する。
この規程は、令和 3年 4月1日から施行する。
この規程は、令和 3年 6月1日から施行する。
この規程は、令和 4年 6月1日から施行する。
この規程は、令和 5年 6月1日から施行する。
この規程は、令和 5年10月1日から施行する。
この規程は、令和 6年 6月1日から施行する。
この規定は、令和 7年 6月1日から施行する。